

～簡素で効率的かつ効果的な行財政運営の実現を目指して～ 第5次町行財政改革審議会が答申



▲第8回審議会で町長に答申する馬田会長（右）

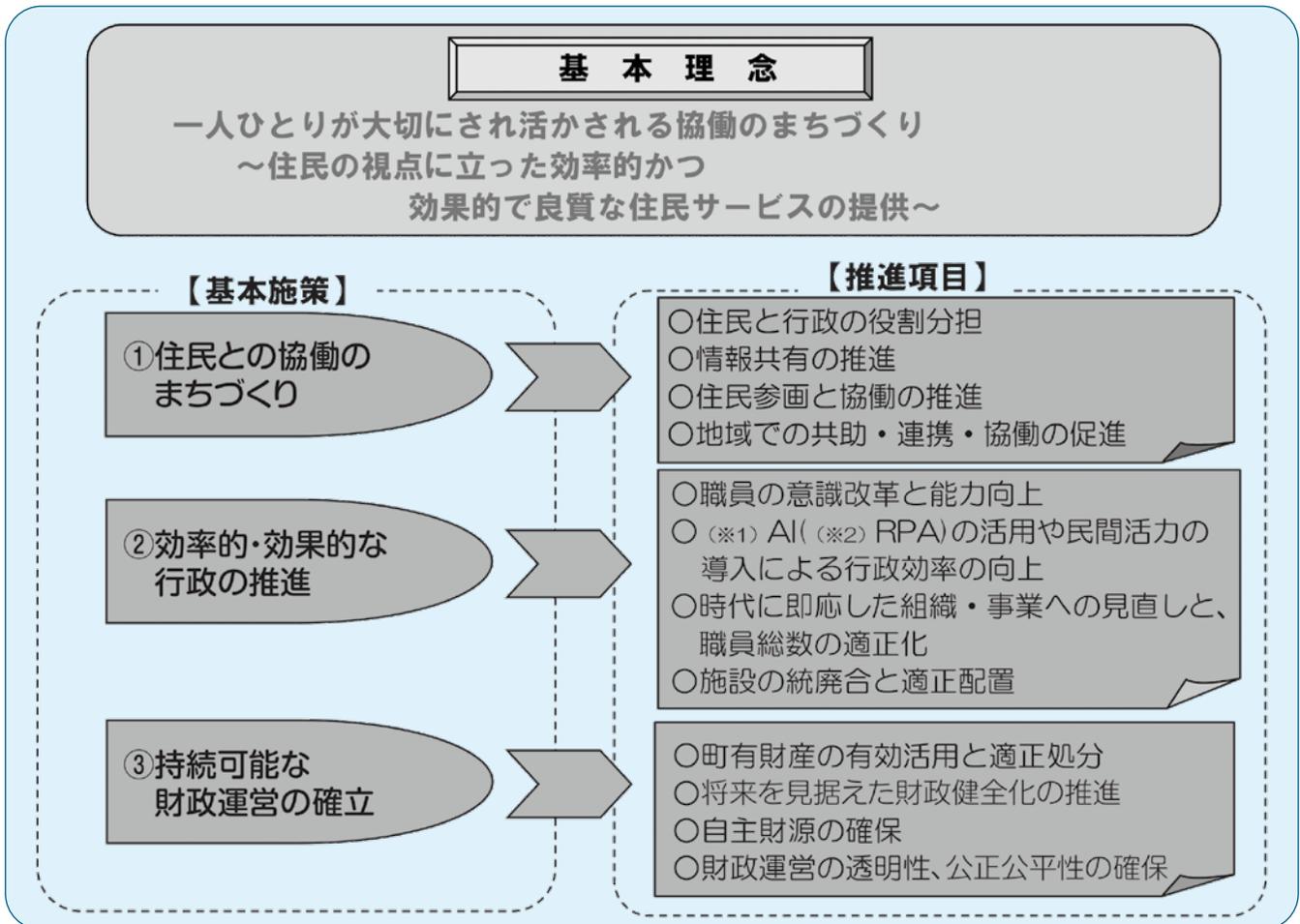
町では行財政改革を推進するため、第5次行財政改革大綱の策定及び集中改革プランの見直しについて、昨年6月、大山町行財政改革審議会（馬田栄司会長・委員10名）に諮問を行いました。

これを受け、町行財政改革審議会では、8回にわたり慎重な審議を重ね、令和2年度～5年度までの4年間の行財政改革大綱と集中改革プランについてまとめ、2月12日に竹口町長へ答申されました。

町では、この答申を基に行財政改革を進め、社会情勢の変化に対応しながら継続的に改革・改善に努めていきます。

第5次大山町行財政改革大綱及び集中改革プランの詳しい内容につきましては、町ホームページに掲載しています。

【第5次行財政改革大綱(計画年度:令和2年度～5年度)の体系図】



(※1)AI … Artificial Intelligence の略。人工知能のことを指し、人間がコンピューターに対してあらかじめ分析上注目すべき要素を全て与えていなくとも、コンピューター自らが学習し、一定の判断を行うこと等が可能となる。

(※2)RPA … Robotic Process Automation の略。これまで人間が行ってきた定型なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもので、RPAを導入することにより、業務自動化による生産性の向上が期待される。